

抗血小板剤と橈骨動脈止血器装着中の出血の関連についての検討

1. 研究の対象

西暦 2017 年 03 月 01 日 ～ 西暦 2020 年 12 月 31 日に当院にて橈骨動脈アプローチで日帰り心臓カテーテル検査を受けられた方対象

2. 研究目的・方法

研究期間：西暦 2017 年 03 月 01 日 ～ 西暦 2020 年 12 月 31 日

当院における日帰りカテーテル患者の多くは橈骨動脈穿刺を行っている。

止血デバイスとして橈骨動脈止血器（以下 TR バンド）を使用しているが、減圧時に出血をきたすことがある。

出血をきたすことは患者満足度の低下につながっており、さらには橈骨動脈の閉塞をきたすことがある。

そこで、TR バンドの減圧プロトコルの見直しを行い旧プロトコルと比較検討を行い、抗血小板剤・抗凝固剤との関連性を含め止血時間の短縮、減圧時間の短縮の検討を行う。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

1) 研究対象(募集方法や選定方法など)

橈骨動脈アプローチで日帰り心臓カテーテル検査を行った病客全例対象

(4 Fr 5 Fr シース等使用した方)

2018 年以前の既存の減圧プロトコルと

2018 年 4 月以降の 30 分ごとに減圧する新規プロトコル群の比較検討

2) データの収集方法・内容・手順

シースサイズ、内服薬内容、年齢、性別、出血の有無、血圧、基礎疾患、検査データ等に関してカテーテル記録、カテーテル後の日帰りでのカルテ記録からの収集

6 ヶ月後もしくは次回外来受診時に橈骨動脈の開存の確認（触知確認）

3) データの分析方法

止血に要した時間、内服薬、シースサイズ等に関した 2 群間での比較

当院で取得したデータは解析を行い、研究目的にのみ使用します。

匿名化した情報にパスワードを設定しパスワードロックが可能な USB またはハードディスクに個人が特定できないようにした対応表で、保管・管理します。この結果は、学会や論文などで報告される可能性があり、その権利は施設研究者に帰属します

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

心臓病センター榊原病院

住所：岡山市北区中井町 2-5-1

電話：086-225-7111

担当者：心臓病センター榊原病院 看護部 主任 高松幸子

研究責任者：心臓病センター榊原病院 循環器内科 部長 廣畑敦

研究担当者：心臓病センター榊原病院 看護部 主任 高松幸子

研究代表者：心臓病センター榊原病院 看護部 主任 高松幸子